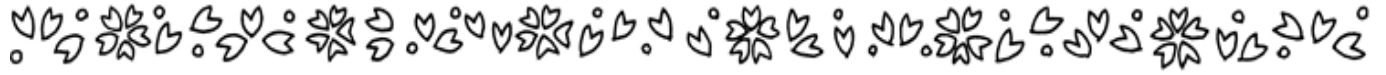


サポートルームだより

町田市立小山田南小学校
サポートルーム



1学期も残すところ約2週間となり、サポートルームの学習も残りわずかとなりました。夏休みに向けて、1学期の学習のまとめをしていき、子供たちにできるようになったことを伝えていきます。

夏休み期間中、何かお困りのことや相談したいこと等ございましたら、いつでも小山田南小学校のサポートルームに御連絡ください。

7月の予定

7月


1学期指導最終日

小山小学校・・・7月12日(金)

小山田小学校・・・7月16日(火)

小山田南小学校・・・7月16日(火)

※月曜日が指導日の3・6年生は、17日・18日のどちらかで振り替え授業を行います。(授業日数調整のため)



9月の予定

9月

2学期指導開始日

小山小学校・・・9月5日(木)

小山田小学校・・・9月10日(火)

小山田南小学校・・・9月9日(月)




7月の学習予定 ※グループによって学習内容が異なります。

☆ **小集団学習**

【低学年】 工作(はさみ、のり、色鉛筆の使い方) 「ミッションをクリアしよう」

【中学年】 相談活動、「自分の意見を伝えよう」「ルールを守ろう」

【高学年】 「暗黙の了解について考えよう」「物の見方を変えてみよう」

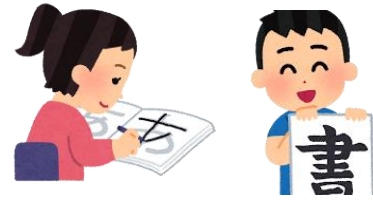


2学期末で指導期間が満了となる児童の保護者様へ

(2022年度、2023年度3学期より入級した児童)

3学期以降も指導を延長する場合、9月10日(火)までには「延長申請書」を御記入いただき、御提出いただくことになっております。夏休み前や夏休み中に電話や面談等で、サポートルームの教員、もしくは学級担任より延長についての御相談をさせていただきますので御理解のほど、よろしく願いいたします。

個別学習の様子 ～「書字のトレーニング」～



在籍学級の様子を覗きに行くと、ひらがなや漢字の習得に苦戦している子供たちを見かけます。実際に「練習しているのに覚えられない」「字のバランスがとれない」「線が一本足りない(多い)」という声を、保護者の方からも在籍学級の先生方からもよく耳にします。サポートルームに通う子供たちの中にも、このような悩みを抱えている子供たちが多くいます。書字のつまずきを克服するためには、そのつまずきの背景を分析する必要があります。

下の表のように、書字につまづく理由には、様々な背景が考えられます。サポートルームでは、子供たちがどこにつまづいているのか発達検査等も参考にしながら分析し、その要因となる部分の改善を目指しています。

例えば、①のようにもともと記憶できる容量が少ない子供には、一度に何回書かせても結果は同じで、いかにして記憶に残すかが重要となってきます。唱え歌にしたり形や模様に見立てたり、大きく書かせたり、子供自身がこれなら覚えられそうといった覚え方を見付けていく必要があります。

②の字のバランスがとれない場合は、形を的確に捉えられるように空間認知力を高めるトレーニングをするとともに、色分けをしたり漢字をいくつかのパーツに分けたりするなどの工夫も必要です。

ひとえに「書字のトレーニング」と言っても、子供によって行うトレーニングは様々です。子供たちのつまずきがどこにあるのか見極めた上でトレーニングを行っていくことがとても大切です。書字に限らず、「なぜできないのか」の「なぜ」の部分大切に、今後も指導をしていきたいと思えます。

《書字の状態とその背景》

状態	背景
①何回書いても覚えられない	・覚えてもすぐ忘れる(ワーキングメモリの弱さ)
②字のバランスがとれない	・手先が不器用である。(運動面の課題) ・形を的確に捉えられない(空間認知の弱さ) ・文字がゆがんだりぼやけたりする。(視機能や眼球運動の偏り)
③線が一本足りない・多い	・集中力がない。(不注意や落ち着きのなさ) ・文字がゆがんだりぼやけたりする。(視機能や眼球運動の偏り)
④左右反対や鏡文字	・左右が定着していない。